

別表 1

平成30年度協働テーマ一覧表(山梨県)

NO	所 属	協働事業募集テーマ
1	政策企画課 国際総合戦略室	東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成及び地域活性化
2	消費生活安全課	消費生活の安全・安心、持続可能な社会の実現に向けた消費者教育の推進
3	世界遺産富士山課	世界遺産富士山の巡礼路の活用
4	情報政策課	I C T (情報通信技術) を活用した地域課題の解決と地域の活性化
5	健康増進課	山梨県民の運動習慣の向上
6	健康増進課	性感染症の予防や感染者の偏見解消のための普及啓発
7	新事業・経営革新支援課	創業機運の醸成
8	新事業・経営革新支援課	地域活性化に資する IoT・AI 等先進的技術の活用
9	企業立地・支援課	子供たちのものづくり体感事業
10	国際観光交流課	地域の国際化の推進
11	農村振興課	県外者の利用を想定した市民農園・体験農園の設置、活用
12	農村振興課	農泊推進のための合意形成及び普及啓発
13	県土整備総務課 景観づくり推進室	地域が主体となった景観まちづくり
14	中北建設事務所	河川内立木の地産地消
15	中北建設事務所 峡北支所	名水の里から河川美化の創出
16	峡南建設事務所	官民一体となった峡南地域の川の再生
17	富士・東部建設事務所	河川維持管理の地域との連携
18	富士・東部建設事務所 吉田支所	官民一体となった富士北麓地域の川の再生

県からのテーマ

市町村名・所属名	政策企画課 国際総合戦略室
協働事業募集テーマ	東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成及び地域活性化
テーマの趣旨 (課題)	<p>県では、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、事前合宿を誘致し、スポーツなどによる交流の促進や地域活性化を図ることとしており、平成30年2月末現在で、9市町村8件の事前合宿の実施が決定しているところである。</p> <p>今後は、当該市町村において、スポーツをはじめ文化や産業などの分野での交流事業や機運醸成事業が本格化していくことになるが、この効果を広く県内に波及させ、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成や地域活性化を図っていく必要がある。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・県民が広く参加できる事業 ・スポーツや文化、産業、教育、国際交流等の分野において、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた機運醸成や地域振興を図る事業
その他	
担当者名	<p>政策企画課 国際総合戦略室</p> <p>電話 055-223-1545</p> <p>E-mail ishihara-zrs@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	消費生活安全課
協働事業募集テーマ	消費生活の安全・安心、持続可能な社会の実現に向けた消費者教育の推進
テーマの趣旨 (課題)	<p>消費者をめぐる状況は、スマートフォンなどの情報機器の普及による高度情報化により利便性が高まる一方、それに伴う消費者トラブルも多様化・複雑化している。また、悪質商法による被害や、健康被害を及ぼす製品事故など消費生活に関するトラブルは後を絶たない。消費者被害を防止するためには、学校や家庭における消費者教育のみならず、地域社会において様々な場面で消費者教育に触れる機会を設け、消費生活に関する意識を向上させる必要がある。</p> <p>また、自分が消費者被害にあわないことだけでなく、周囲の人々や将来の社会情勢や環境に配慮しながら、社会の発展と改善に消費者が積極的に参加する「消費者市民社会」の形成のため、食品ロスの削減や、フェアトレード、エシカル消費など、公正で持続可能な社会への実現に向けた取り組みが進められる中、それらの概念普及が不十分な状況にある。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害（悪質商法による被害、製品による事故、子どもの事故、等）防止に対する意識の向上 ・エシカル消費についての概念普及 ・その他消費者問題に関する県民の意識の向上
その他	
担当者名	<p>消費生活安全課 消費生活担当 電 話 055 - 223 - 1352 E-mail shokuhin-st@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	世界遺産富士山課
協働事業募集テーマ	世界遺産富士山の巡礼路の活用
テーマの趣旨 (課題)	<p>県及び関係市町村等で構成する「富士山世界文化遺産保存活用推進協議会」では、世界遺産富士山の構成資産をつなぐ巡礼路等を活用しながら、世界遺産の価値の理解を促進するとともに、新たな富士山観光を推進し、エリア全体の地域活性化に資する事業に取り組んでいる。</p> <p>今後、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、外国人観光客を始め、国内各地から多くの観客動員が見込まれる。隣接する本県においては、これを契機として世界遺産富士山を目的とした観光客の増加が期待できることから、民間団体の主体的な取組または民間団体と行政との協働による取組を一層進めていく必要がある。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>・世界遺産富士山の構成資産をつなぐ巡礼路等に関する情報提供事業及び普及啓発事業： ガイドを対象にした研修会の開催、広報ツールによる普及啓発 等</p>
その他	
担当者名	<p>世界遺産富士山課 普及企画担当 電 話 055 - 223 - 1316 E-mail amemiya-wfg@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	情報政策課
協働事業募集テーマ	ICT（情報通信技術）を活用した地域課題の解決と地域の活性化
テーマの趣旨 (課題)	<p>過疎化や高齢化が進む中で、十分な保健、医療、福祉、介護の提供や、地域コミュニティ・公的サービスの維持、農業を始めとする地域産業の維持・振興等が地域の課題となっています。</p> <p>ICTは、あらゆる分野において、効率性の向上や高付加価値化を実現することにより、地域課題の解決を図り、地域の活性化を支える重要な手段となりうるものであり、その効果的な活用が求められています。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題の解決と地域の活性化を図るためのICT活用事業 ・ 地域におけるICT利活用の中心となるような人材の育成事業（講座の開催等）
その他	
担当者名	<p>情報政策課 情報企画担当</p> <p>電 話 055 - 223 - 1416</p> <p>E-mail jouho@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	健康増進課
協働事業募集テーマ	山梨県民の運動習慣の向上
テーマの趣旨 (課題)	<p>県健康増進計画「健やか山梨21(第2次)」に基づき県民の健康の保持増進を進めています。本県の健康寿命は、平成22年、25年、28年の国民生活基礎調査をもとに算出している都道府県別健康寿命の平均値が男女ともに全国1位となっています。</p> <p>健やか山梨21(第2次)では80の指標を掲げ、取り組んでいるが、達成率(改善率)が著しくない項目として、「身体活動・運動」があります。県民全体(男女とも全世代)で日常生活における歩数が少なく、運動習慣者の割合も少ない。また、次世代を担う子どもも同様に運動やスポーツを習慣的にしている割合も減少しています。</p> <p>健康の保持増進、更なる健康寿命の延伸を目指すためには、子どもを含めた県民の運動習慣を向上する必要があります。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>県民の日常生活における歩数の増加、運動習慣の向上 次世代を担う子どもから大人までの全世代の参加を 目指した運動に関連する事業</p>
その他	
担当者名	<p>健康増進課 健康企画担当 電 話 055-223-1493 E-mail okabe-wmp@pref.yananashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	健康増進課
協働事業募集テーマ	性感染症の予防や感染者の偏見解消のための普及啓発
テーマの趣旨 (課題)	<p>近年、梅毒の増加等、性行為による性感染症の広がりが問題となっている。</p> <p>また、H I V感染者やエイズ患者、B型肝炎ウイルス感染者への偏見等があり、職場や学校などで差別を事例が確認されている。</p> <p>このことから、性感染症の予防、偏見差別を解消するための正しい知識の普及や相談窓口や医療機関で気軽に相談を行える機運を醸成する必要がある。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人を含めた幅広い層に啓発できる事業 ・検査や相談が行える事業 ・外国人の相談や検査時の語学支援
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・県では保健所の匿名無料の検査の実施や学校等での講習会を開催している。 ・サッカーJ2のV F 甲府ホームゲームでの啓発キャンペーンの開催や県立大学の学生等の活動を後援している。
担当者名	<p>健康増進課 感染症担当</p> <p>電 話 055 - 223 - 1494</p> <p>E-mail hirose-amxw@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	新事業・経営革新支援課
協働事業募集テーマ	創業機運の醸成
テーマの趣旨 (課題)	<p>地域の活性化に繋がる雇用を創出するためには、新たな産業の創出が必要です。</p> <p>本県の開業率は4.7%(H27)であり、国が目指す10%台にはほど遠い状況で、新たな産業を創出しようとする起業家を増加させる必要があります。</p> <p>現在、開業率上昇に資する施策は既に創業を決意している創業準備者向けの内容に集中しており、創業を希望する者が創業に至る割合は海外と比較しても高水準となっています。</p> <p>今後は、創業について関心がない者に対するアプローチが必要であり、開業率上昇に向け山梨県内で多くの方が創業しようとする機運を醸成させる必要があります。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題に取り組む起業家教育 ・ 起業・創業を意識させる取り組み ・ 地域コミュニケーション力を強化した新たなビジネス創出 ・ 企業等と地域住民との協働・共助の促進
その他	
担当者名	<p>新事業・経営革新支援課 新市場獲得・経営革新担当</p> <p>電 話 055-223-1544</p> <p>E-mail shinjigyo@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	新事業・経営革新支援課
協働事業募集テーマ	地域活性化に資する IoT・AI 等先進的技術の活用
テーマの趣旨 (課題)	<p>パソコンやスマートフォンなど IT 技術の進展に伴い、第 4 次産業革命の到来を迎えようとしています。</p> <p>日常生活全般のあらゆるものが IoT・AI 等の先進的技術につながり、快適な環境を作り出し、最適な行動を示してくれる世の中となります。</p> <p>現在、ビジネス及びプライベートにおける活用が急ピッチに進められているこの先進的技術について、地域課題の解決や、地域コミュニティへの活用など、地域活性化の手段として効果的な活用が求められています。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ AR・VR 技術等による地域資源等を活用した新事業 ・ IoT 等技術者・プログラミング教育等若年層の人材育成 ・ AI、ロボティクス等活用による地域課題解決
その他	
担当者名	<p>新事業・経営革新支援課 新市場獲得・経営革新担当</p> <p>電 話 055 - 223 - 1544</p> <p>E-mail shinjigyo@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	企業立地・支援課
協働事業募集テーマ	子供たちのものづくり体感事業
テーマの趣旨 (課題)	<p>県内における平成 29 年平均の有効求人倍率は 1.36 倍と、前年度比 0.19 ポイントも上昇しており、県内のものづくりを行う事業者からは、雇用（特に正社員）を確保できず苦慮しているとの声が多く寄せられている。</p> <p>一方、技術・家庭科の学習時間は昭和の時代と比べると大幅に減っているだけでなく、携帯ゲームの普及など遊び方も大きく変わってきており、子供たちのものづくりに対する興味や知識が減ってしまうことが懸念されている。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校低学年、高学年、中学生の対象を明確にした事業 ・ 子供たちにもものづくりの楽しさを体感（見る、聞く、触れるを通じた体感）してもらおう事業 ・ 主に地場産業（ジュエリー、織物、ワイン、和紙、ハンコ）を主体としたものづくりの活性化を目指す事業
その他	
担当者名	<p>企業立地・支援課 企業支援担当</p> <p>電 話 055 - 223 - 1541</p> <p>E-mail sangyo-rt@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	国際観光交流課
協働事業募集テーマ	地域の国際化の推進
テーマの趣旨 (課題)	<p>山梨県では米国・アイオワ州、韓国・忠清北道、中国・四川省、ブラジル・ミナスジェライス州と姉妹締結を行っており、これらの地域をはじめとした諸外国との国際交流事業を通し、本県の国際化の推進に取り組んでいます。</p> <p>本県の国際化の推進のためには、県民が一丸となり、「オール山梨」で国際交流や多文化共生を推進し、魅力ある地域づくりを行っていく必要があります。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民参加により地域の国際化を推進するもの。 ・ 事業終了後も国際交流等の継続が期待されること。
その他	
担当者名	<p>国際観光交流課 国際交流担当 電 話 055 - 223 - 1435 E-mail kokusai@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	農村振興課
協働事業募集テーマ	県外者の利用を想定した市民農園・体験農園の設置、活用
テーマの趣旨 (課題)	<p>〔経緯〕 都市住民の、農業へのあこがれや農作業のリフレッシュ効果等により、多くの都市住民が農村地域への関心を高めている。一方で、現在県内には約100の市民農園が開設されているが、その多くは地元住民を対象としている。</p> <p>〔現状・課題〕 新たな発想と情報発信力を持つNPOと連携し、県外の都市住民を対象とした市民農園・体験農園を開設し、多くの都市住民を県内に呼び込み、農村の活性化につなげる。 併せて、既存の市民農園の空き区画についても、新たなアイデア、企画により活用を図りたい。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>〔目的〕 市民農園等を活用した都市と農村の交流拡大</p> <p>〔対象〕 地域において市民農園等を開設するNPO等</p> <p>〔事業概要〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外の都市住民を対象にした市民農園・体験農園等の設置、活用 ・ 既存の市民農園における空き区画の活用 ・ 農村地域の宿泊施設（農家民宿、古民家等）との連携 ・ リピーター拡大、2地域居住や移住への誘導
その他	市民農園の開設には、市町村等との協定締結、承認が求められることから、あらかじめ市町村担当課との連携が必要。
担当者名	<p>農村振興課 農村整備担当</p> <p>電 話 055 - 223 - 1595</p> <p>E-mail kubokura-ahds@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	農村振興課
協働事業募集テーマ	農泊推進のための合意形成及び普及啓発
テーマの趣旨 (課題)	<p>〔経緯〕 農林水産省は農村地域の活性化のために農泊（農村地域における滞在型観光）を促進しており、政策目標として2020年までに500地域の農泊地区の設置を目指している。</p> <p>〔現状・課題〕 本県でも農泊の推進を図っているが、農泊を成功させるためには取り組み地域内での様々なコンテンツを連携させて受け入れ体制を拡充させることが必要である。そのためには農泊推進の中心となる事業主体が、農泊による地域活性化の効果を地域に広く還元できるよう、取り組み地域内で事前に合意形成を図っておく必要がある。</p> <p>そのため地域において農泊の中心となる団体等に対して、地域内での合意形成（普及啓発）を図るために必要なセミナーやワークショップ等の開催を支援する。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>〔目的〕 農泊推進のための地域における合意形成及び普及啓発</p> <p>〔対象〕 地域において農泊に取り組もうとする事業主体</p> <p>〔事業概要〕 合意形成及び普及啓発のためのセミナー開催等の支援</p>
その他	<p>農泊の推進には取り組み地域の属する市町村の合意が必要になるため、補助金交付を希望する団体が所属する市町村の担当課も交えて取り組みにあたる。</p>
担当者名	<p>農村振興課 農村整備担当 電 話 055 - 223 - 1595 E-mail maeda-amhm@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	県土整備総務課 景観づくり推進室
協働事業募集テーマ	地域が主体となった景観まちづくり
テーマの趣旨 (課題)	<p>本県が誇る美しい自然景観など地域の資源を県民共有の財産として守り育て後世に継承していくためには、「農林業」「地域教育・子供教育」「温泉・地場産業」「神社・仏閣などの文化財」「お祭り・伝統行事」などといった本県の景観を形づくる地域の特性（風土）に着目し、これらを生かした「景観まちづくり」の取り組みを地域が主体となって進めていくことが必要。</p> <p>こうした地域の景観形成につながる取り組みはいくつかの地域において活発になってきているが、今後さらに県内全域へ拡大していくことが必要。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしに根ざした景観、伝統行事、文化財など地域の資源や財産を保存・活用していく景観まちづくりの取り組みを、地域が主体となって検討・実践する事業 ・本県の景観や自然が持つ魅力を維持し更にそれを高めていくことを基本テーマに、住民・事業者と行政がそれぞれの役割に応じ連携・協力することができる活動の事業
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な内容は、景観づくり推進室と意見交換、すりあわせを行い、NPOが企画する。 ・県の施策、事例等の情報提供、事業の広報や関係団体への橋渡し、景観の専門家の派遣等を行う。 ・NPOから景観づくり推進室に質問、意見交換を行った上で、県の役割を提案することもできる。
担当者名	<p>県土整備総務課 景観づくり推進室</p> <p>電話 055-223-1325</p> <p>E-mail kendosui@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	中北建設事務所
協働事業募集テーマ	河川内立木の地産地消
テーマの趣旨 (課題)	<p>河川内の繁茂する立木は、大雨等の出水時、流水に支障を来すため、基本的に伐木することとなる。</p> <p>しかし、管内の河川は101河川、河川延長は約300kmに及び、また、河川内の立木は、伐採後も数年の内に再度繁茂するため、予算的な面からも、緊急性や必要性の高い箇所から順次対応しているところであるが、繰り返しの対応となっているため、管内全河川への対応はまだまだ不十分である。</p>
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で繁茂する河川内立木を地元自治会、地元企業等による伐木、運搬、処分を行い、有効的（薪等）に活用（地産地消事業）。
その他	
担当者名	<p>中北建設事務所 河川砂防管理課 管理担当 電話 055 - 224 - 1664 E-mail ch-kensetsu@perf.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	中北建設事務所 峡北支所
協働事業募集テーマ	名水の里から河川美化の創出
テーマの趣旨 (課題)	<ul style="list-style-type: none"> ・北杜市は2018年度「住みたい田舎（人口10万人未満の小さなまち）」ベストランキングで総合部門第1位に選ばれた。 ・これは、自然の豊かさばかりでなく、移住者の受け入れ実績、子育て支援対策などの地域施策が評価されたもので、若者定住対策など移住希望者の就労支援が積極的に行われ、年代別では30代の移住者が最多となった。 1 ・人口減少や少子高齢化が社会問題となる中、さらに魅力的な「田舎」を創出することは地域の持つブランド力を推進し地域活性化へと繋がるものである。 ・北杜市では世界に誇る「水の山」プロジェクトを立ち上げ、「水」と「山」をテーマとしたイメージ戦略に取り組んでおり、多くの市民や企業等が様々な活動を展開している。 2 ・また、北杜市を含む峡北地域は、名水百選のひとつに選定された尾白川渓谷（一級河川尾白川：北杜市白州町）や三分一湧水（一級河川高川から取水した農業用水の堰：北杜市長坂町）など「日本一の名水の里」であり、こうした清らかな水辺環境を継続的に保全する河川美化活動推進が急務となっている。 3
事業提案のポイント (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・河川内の除草・伐木・泥上げ等の河川維持については、行政による維持管理だけでなく地域住民による河川美化活動等により成り立ってきたが、近年、地域住民の高齢化に伴い活動規模は年々縮小傾向にある。 ・このため、従来からの官民による各活動と併せ、企業やNPO、ボランティア団体等による独自または官民連携の河川美化活動を推進し河川の荒廃抑制を図りたい。
その他	
担当者名	<p>中北建設事務所 峡北支所 河川砂防管理課 管理担当</p> <p>電話 0551-23-3062</p> <p>E-mail khk-kensetsu@pref.yamanashi.lg.jp</p>

1 出典:田舎暮らしの本(株式会社宝島社)2018年2月号、山梨日日新聞[平成30年1月20日(土)]

2、3 出典:北杜市役所ホームページ(「水の山」プロジェクトホームページ)

県からのテーマ

市町村名・所属名	峡南建設事務所
協働事業募集テーマ	官民一体となった峡南地域の川の再生
テーマの趣旨 (課題)	<p>高齢化の進む峡南地域では、旧来地域で行なってきた川の清掃、除草伐木、泥上げなどが年々継続出来なくなる地区も出てきており、河川の利用者も減っています。</p> <p>地域が主体となって川を手入、利用することで、川に愛着を持ち、地域の美化・減災に寄与する川づくりを支援する必要があります。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>民間アイデア、ノウハウを生かし、河川管理を行政に頼るものから地元住民が自ら管理することで川への愛着が醸成され、汚さないようにしたり、散歩、魚釣り、水遊びなど身近にある水辺を最大限有効活用してもらいたい。また、地域自らが、主体的に川の手入れをすることにより、地域の美化はもちろんのこと、河川の特性を知ることにより減災にもつながります。</p>
その他	
担当者名	<p>峡南建設事務所 河川砂防管理課 河川砂防担当 電 話 055 - 240 - 4129 E-mail ishida-ztk@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	富士・東部建設事務所
協働事業募集テーマ	河川維持管理の地域との連携
テーマの趣旨 (課題)	<p>地域において行われてきた河川の清掃、除草伐木などの奉仕活動が少子高齢化に伴い規模縮小や継続困難となっており、それと同時に河川での活動、関わりも減ってきています。一方、行政において河川維持管理に費やす予算は限られており、全ての苦情、要望に対応出来ていない状況です。その結果、河川内に土砂が堆積し樹木が繁茂することで洪水流下を阻害し、樹木自体が流木となり河川の閉塞や河川施設へ損傷を与えるなど下流に悪影響を及ぼす要因になっています。</p> <p>地域が主体となって河川に手を入れ、利用することで地域の美化や減災につながるのと同時に、行政側の維持管理費の縮減にも効果があると考えられますが、その活動が継続的に行われるような仕組みづくりが必要となります。地域住民の意見を集約した活動の提案を期待します。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>維持管理を行政だけが行うのではなく、地域住民が自ら行うことで河川への愛着が生まれ、身近な水辺空間を積極的に有効活用することで、地域の美化や減災、維持管理費の縮減につながります。</p> <p>具体的な維持管理は樹木の伐採と堆積土砂の浚渫を想定しています。</p>
その他	
担当者名	<p>富士・東部建設事務所 河川砂防管理課 管理担当 電話 0554-22-7819 E-mail ft-kensetsu@pref.yamanashi.lg.jp</p>

県からのテーマ

市町村名・所属名	富士・東部建設事務所吉田支所
協働事業募集テーマ	官民一体となった富士北麓地域の川の再生
テーマの趣旨 (課題)	<p>高齢化が進む富士北麓地域では、旧来地域で行ってきた川の清掃、除草伐木、泥上げなどが継続できなくなってきており、利用者も減っています。</p> <p>地域が主体となって川を手入れ、利用することで、川に愛着を持ち、地域の美化・減災に寄与する川づくりを支援する必要があります。</p>
事業提案のポイント (目的)	<p>民間アイデア、ノウハウを生かし、河川管理を行政に頼るものから地域住民が自ら管理することで川への愛着が醸成され、汚さないようにしたり、散歩、魚釣り、水遊びなど身近にある水辺を最大限有効活用してもらいたい。また川を手入れすることは地域の美化・減災にもつながります。</p>
その他	
担当者名	<p>富士・東部建設事務所吉田支所 河川砂防管理課 管理担当 電話 0555-24-9045 E-mail ysd-kensetsu@pref.yamanashi.lg.jp</p>